

シルバーとよなか

ふれあい

2002年1月

迎春

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.34

新春を迎えて



理事長
水上 利夫

新年あけましておめでとございます。

皆様には平成十四年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、当センターの事業運営にご理解・ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年十月の統計によりますと、豊中市の六十才以上人口は八万五千人を超え高齢化率は



豊中市長
一色 貞輝

明けましておめでとございます。

皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は市政の推進に格別のご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

二二％に達し、いよいよ超高齢化社会が実現のものとなってまいりました。

こうした状況からもうかがえますように、高齢者のライフプランが大きな社会的課題となることも、仕事を通じた高齢者の社会参加や生きがいの充実を目指すシルバー人材センターの役割が今後ますます重要性を増すものと実感しているところでございます。

ご承知のとおり、最近の新聞紙上によりますと、政府の「聖域なき構造改革」や不良債権の最終処理を押し進める過程では、企業の経営破綻やリストラにより雇用情勢は悪化し失業率が五％台後半に推移するともにも不況色が強まると予測されています。

また、国際通貨基金（IMF）は、二十一世紀の幕開けは激動の一年で始まりました。米国の同時多発テロや池田市の児童殺傷事件、景気の悪化など暗いニュースの一方で、敬宮愛子さまの誕生という明るい話題もありました。

昨年、豊中市は地方分権を進める第一歩として特例市に移行し、全国三十市の仲間入りをしました。「人と地域を世界と未来につなぐまちづくり」を基本理念とした第三次豊中市総合計画も開始しました。

また、新たな情報公開制度をスタートさせることも、NPOなど

日本経済に対してもつとも厳しい数値を示し、深刻な状態になると見えています。

この様な厳しい社会経済環境の中ではありませんが、当センターの平成十三年度の事業実績につきましては、平成十年度から取組んでいますセンターの改革・改善や事業に関する諸対策が着実に成果を現し、契約金額は前年度と比較して約一〇％の増加が見込めるとともに就業率について七〇％を越える状況にあります。

これもひとえに、豊中市をはじめとする関係方面のご支援、ご指導ならびに、センター会員、役員の方々の皆様のご協力の賜ものと心から感謝申し上げます。

私は、年頭に当り、当センターのこれまでの事業成果を踏まえ、

の活動を支援するための市民活動情報サロンや子育て支援センター、柴原老人デイサービスセンターをオープンすることができました。

本年はすでに工事に着手しております当池田西地区市街地再開発事業の継続をはじめ、民間法人のご協力をいただき、特別養護老人ホームが三か所竣工する予定となっております。

本市の財政は依然として市税の収入の落ち込みが著しく、現在、危機的な状況にあります。これまで市民の皆さんのご協力をいただき、行政改革第一期計画はほぼ計画通り実行することができましたが、更に昨

この一年をセンター飛躍のための大きな節目であると考えております。

それは、「安らぎにおいて、危うきを思う」の言葉のとおり改革・改善というのは順調なときこそ手をつけるべきものであり、就業環境の変化や多様化に対応し得る経営基盤の確立と、お客様のニーズにきめ細かく対応し、利便性のよい魅力のあるセンターづくりのために、私ども役員一同、頑張つてまいらなければならぬと気持ち新たにしているところでございます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、よりよい年となりますようお祈り申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。

年度から行財政改革第二期実施計画を進め、財政の健全化はもとより、地方分権時代にふさわしい行財政システムを確立しながら、人権・環境問題をはじめ、子育て支援、高齢者福祉、まちづくりなど、多くの課題に対処してまいります。

今年も倍旧のご支援とご鞭撻をお願い申し上げますとともに、新年が皆様方にとりまして素晴らしい年となりますようお祈りいたします。最後に、よりよい年となりますようお祈り申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。

あけまして

おめでとうございます

第一班※	副理事長 藤田 利夫	理事 水田 利夫	理事 岡本 義典	理事 小森 宗五	理事 高塚 秋男	理事 武井 準一郎	理事 徳永 美恵子	理事 馬場 恵子	理事 平野 彰	理事 弘岡 明	理事 行田 陽子	理事 藤澤 弘	理事 北野 嘉	監事 西村 康夫	監事 青木 三郎	監事 金川 三郎
------	---------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	-------------	------------	------------	-------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------

第二班※	理事 永吉 功吉	理事 大森 一男	理事 吉川 二郎	理事 中川 満雄	理事 草野 勉	理事 内藤 倫吉	理事 板倉 工	理事 清水 英雄	理事 徳永 美恵子	理事 馬場 恵子	理事 片山 千代子	理事 牧田 嘉之	理事 平田 彰	理事 田中 ムツ子	理事 小野 正美	理事 長野 夏枝	理事 宇都宮 義典	理事 中野 定磨	理事 久野 定磨
------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	--------------	-------------	--------------	-------------	------------	--------------	-------------	-------------	--------------	-------------	-------------

第七班※	理事 北田 正喜	理事 本元 憲	理事 本田 清	理事 高橋 明	理事 井上 康	理事 尾崎 善夫	理事 栗原 善夫	理事 山口 善夫	理事 森田 善夫	理事 西川 善夫	理事 野口 善夫	理事 壹岐 善夫	理事 青木 善夫	理事 岡田 善夫	理事 石黒 善夫	理事 江崎 善夫	理事 播磨 善夫	理事 小川 善夫	理事 早川 善夫
------	-------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

第八班※	理事 日下 昌之	理事 北條 昌之	理事 藤澤 昌之	理事 本田 昌之	理事 高橋 昌之	理事 井上 昌之	理事 尾崎 昌之	理事 栗原 昌之	理事 山口 昌之	理事 森田 昌之	理事 西川 昌之	理事 野口 昌之	理事 壹岐 昌之	理事 青木 昌之	理事 岡田 昌之	理事 石黒 昌之	理事 江崎 昌之	理事 播磨 昌之	理事 小川 昌之	理事 早川 昌之
------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

第九班	理事 河川 時三	理事 秋田 光三	理事 内藤 光三	理事 竹中 光三	理事 伊藤 光三	理事 江口 光三	理事 藤村 光三	理事 金子 光三	理事 久野 光三	理事 堀野 光三	理事 平野 光三	理事 吉野 光三	理事 高野 光三	理事 行田 光三	理事 川村 光三	理事 中川 光三	理事 早川 光三	理事 小川 光三	理事 早川 光三	理事 早川 光三
-----	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

安全就業委員



豊中市議会議長 清水 正弘

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市議会活動ならびに市政各般にわたり、あたたかいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年は、池田市の小学校の児童殺傷事件や狂牛病騒動、米国での同時多発テロ事件など、今まで私たちが遭遇したことのない事件が相次ぎましたが、十二月には皇室に内親王が誕生され、多くの国民が慶びにわいたところでありました。

一方、わが国の経済状況を見ても、政府が道路特定財源の見直しや郵政3事業の民営化などの構造改革を推し進めるなか、景気は依然として厳しい状況が続いており、先行きにつきましても、同時多発テロ事件等の影響からさらに減速しており、不安定な情勢にあります。

また、完全失業率は過去最高の水準にあり、雇用情勢は一層厳しさを増しており、市民生活に大きく影響を及ぼしております。

さて、今回の国勢調査の結果を見ますと、老年人口が年少人口をはじめて上回ったなかで、高齢者の知恵と経験を若年世代に伝えることは、高齢者の生きがいにもつながり、すべての世代のために活力ある社会を築き上げていくうえで極めて重要であると考えるております。

このようなか、シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の雇用対策を通して、社会参加と生きがいづくりのため、積極的な活動を展開していただいております。誠に心強く感じますとともに、皆様方のご尽力に対しまして、心から敬意を表し、

感謝を申し上げる次第です。市議会といたしましても、厳しい財政状況のなかではありますがい理事者と連携をしながら、新しい発想によって「行財政改革」を進め、財政の健全化を最優先に行い、希望に満ちた明るいまちづくりをめざし、努力を傾注してまいりますのであります。

最後になりましたが、社団法人豊中市シルバー人材センターの更なるご発展と、今年も皆様方にとりまして、幸多い年でありまして、うお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。

徳島「阿波踊りと鳴門観潮の旅」

充実した日帰り旅行

十月十六日(火) 天気予報では、雨になりそうなことをいっていたので、心配したが、なんとか持ちこたえていた。

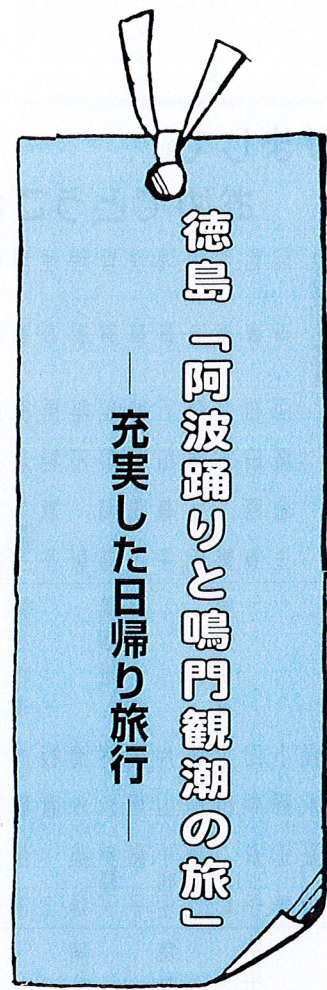
市内の何ヶ所かを回って、市役所前までたどり着いた一号車が、一号車の隣りに並んで停車したのが丁度八時だった。

日帰りということで、みんな比較的軽装だった。今流行のリュックを肩にみなどても若々しく見えた。

定刻八時十分に出発したバスが八時二十分に中国自動車道のゲートを通る頃には薄日が差してきた。

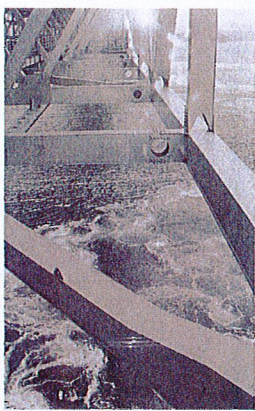
中国・山陽道の車の数も、週日のせいかととも少なく、いつも見慣れている高速道の両側の野山にははや紅葉しているところもあって、目を楽しませてくれた。三木I・TCを出て、明石海峡大橋にさしかかる。九時四十分頃、明石港に潜水艦らしきものが航行しているのが見えた。

明石海峡大橋の偉容を目の辺りに通過。淡路島に入ると、左に花

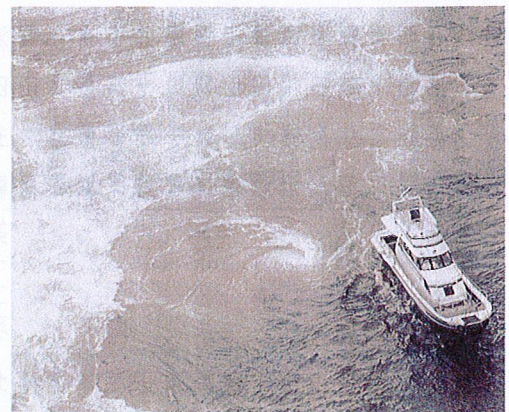


博跡みて、おのころ神社とのこと、玉ねぎのような美女のことなどガイドさんの説明を聞き流しているうちに、岩屋、洲本、東浦、西淡路・南淡町と島内を抜けて、大鳴門橋に到着。(一〇:四〇) その頃から、雨模様。しかし、傘を差すほどのことも無し。鳴門公園の「渦の道入口」というところから、渦上四五メートルというガラス張りの通路を通過して渦のようすを観ることが出来た。安全につくられているとはいっても、足がすくむ。

大鳴門橋下に傾く潮見船
秋潮や大渦尻目に漁り船



月の観潮のタイミングは十一



時三十分と夕刻の六時半ということ、私達が観た時は少し早すぎたのが、直径二〇メートルもある大潮のときのような渦は観られなかったが、二メートル前後の渦が絶えず見られた。その渦の真近を漁船や観潮船が経巡っていたのは驚きであった。

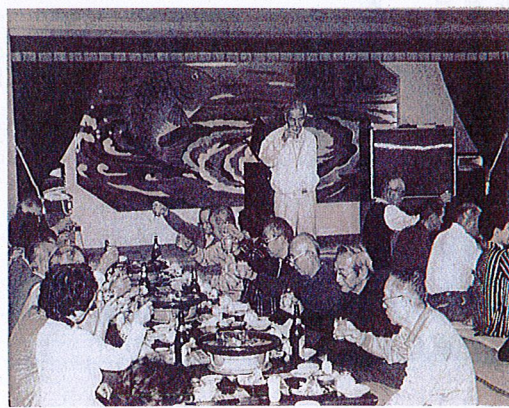


十一時三十分には、バスの停めである駐車場に戻った。

こともなげ渦潮よぎる貨物船
海境はここぞと思ふ連ね渦

道に迷った女性二人の到着を待って、「鯛丸」にて鯛すくしの豪華な昼食をおいしくいただいた。

潮騒を耳に真鯛の朴葉焼



一時半には、「鯛丸」を出て、二時十五分には「そばまんじゅう工場」に立ち寄り、「阿波踊り会館」に到着。そのころには、雨脚もやや本降りとなって傘のやつかひになった。

ここで見せていただいた専属連「阿波の風」による「阿波踊り」の演舞には、心底感服いたしました。



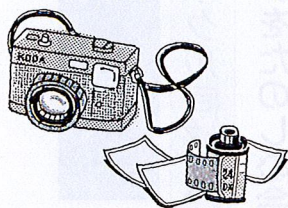
極致があった。
ただ、見せるだけでなく、観客が参加し、体験出来る仕組みになっていることにも感心した。体験して、何か記念品をいただかれた会員の方が何人かおられました。



た。世界の松舞台で演じられても全く恥ずかしくない、洗練された



た
秋潮へ阿波の大河の果てんとす
三時五十分鳴門を後にし、ほぼ予定通りの時刻には無事豊中市役所前に帰着。
雨は降っていたものの、それぞれ、楽しいふれあいの時を胸に帰途についた事でした。
(俳句・須藤みさをさん、文・岡本宗五男)



賛助会コーナー

- (株)イーパック (日出町)
 - (株)三和ビル (庄内東町)
 - (株)高尾鉄工所 (島江町)
 - (株)加納 (中椋塚)
 - (株)オカキン (原田中)
 - (株)渡辺製作所 (名神口)
 - (株)二葉 (本町)
 - (株)湯山製作所 (名神口)
 - (株)太鼓亭 (箕面市稲)
 - (株)大川歯車製作所
 - (株)内田スプリング製作所 (庄内宝町)
 - (株)三栄源エフ・エフ・アイ(株) (千成町)
 - 日章アステック(株) (三和町)
 - 大阪理研工業(株) (名神口)
 - 名鉄観光(株)梅田支店 (神州町)
 - やまかつ(株) (大阪市北区)
 - 岸岡企業(株) (大阪市北区)
 - 東栄精機(株) (浜)
 - 国産部品工業(株) (新千里東町)
 - (有)イーパック物流 (日出町)
 - (有)ティアントピ (日出町)
 - 雪印食品(株) (尼崎市小中島)
 - (株)メカネスパー (大阪市淀川区)
 - 仏光山如来寺 (箕輪)
 - 正光山浄行寺 (走一井)
 - 庄内神社 (庄内幸町)
 - 矢部文雄 (上野東)
 - 西岡孝 (本町)
- (敬称略)

編集のしおり

昨年の二十周年記念行事は、会員多数の参加により盛大に開催されました。

二十年の足跡を顧みる時、会員並びに運営に携われた方々のご尽力に心から敬意を表します。厳しい経済、社会情勢ではありますが、高齢化の進展は確実に進んでまいります。よってシルバーの存在はますます重要となってきます。そして仕事を通しての社会貢献に生き甲斐を見出しておられる会員の皆様の健康とご活躍を心よりお祈りしております。

また、同好会が益々活発に活躍され、仕事を通じて共に、親睦を深められることをお喜びの申し上げます。

表紙の写真は、会員の藤田泰通さん、題字は鷲崎俊一郎さんの作品です。

(野口)

同好会だより

囲碁同好会

第三班 梶浦 武彦



前号の「ふれあい」で準備していた囲碁大会はシルバー人材センター創立二十周年記念式典の日に実施の予定であったが、時間の関係で取りやめになりこの程十一月二日(金)によろやく実施の運びとなった。

当日は十四名(内一名欠席)の参加で各四局の熱戦を展開し最終的に鷺崎氏が四戦全勝で優勝され準優勝には中野氏、坂ノ上氏、矢野氏、岸本氏の四名が三勝一敗の同率となりくじ引きの結果、岸本氏に決定して幕を下ろしました。

次回は来年一月末頃に冬期大会を予定しておりますので会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。猶例会は毎週シルバー人材センター事務室の二画で開始時間を一時半からとしております。

美術サークル同好会

スケッチをたのしみむ会

山階 康雄

箕面駅集合いつものメンバー昨年は祭りと重なり人出多く大変だった。今回は平日であり朝方はバラバラ瀧安寺附近でスケッチを決める。瀧安寺手前の赤い橋ゆるやかに反った寺の屋根秋晴れの空にくっきりと鮮やかな紅葉が調和され日本古来の優雅な風景をかもし出す。歩く足を止め感嘆する人、写真機を構える人様様である。我々もみとれてスケッチを忘れ勝ち、結構年配の婦人達のグループが人通りの多い所で腰をかがめて懸命に描いてる姿其のものがスマートであり絵になる様に思え



る。瀧安寺でのスケッチそれぞれ個性あふれる絵を描く、お互い納得いくまで描き続けたい気持ちは分かるが、一時間過ぎ箕面滝めがけて出



発。道に立ちはだかる大きな唐人瓦岩屋間でも薄暗く感じる。徐々に人も増え行き会う人で狭い道も窮屈になる。滝に登りつめると紅葉を求め人で一層賑やかさを増す。『そういうえば一度も猿を見かけないね』誰れとなく云う『そうだねとないしたんやろう』さりげない言葉のやりとり。滝をバックに写生グループが点在している。例年より水量が減ったか三十三米の落度も弱そうに感じる。我々も写生に入りそれぞれ良い場所を探し描くが中々思うように完成作品が出来ない。三時過ぎると日もかたむき、そうそうに下山する事にした。駅前の喫茶店で休憩、今迄の感想それぞれの絵を批評し合う。『よう歩いたもんだね六キロいや七キロ歩いたよ』今日も一日楽しかったがお互い疲れの色はかくせない。『来月は中山寺にしよう』『忘年会もしたいな』時間を忘れ、一杯のコーヒードねばる『じゃ来月又ね』それぞれの帰途につく。

書道同好会

第十一班 谷口豊次朗

書道をはじめて一年半、回を重ねる毎に、その奥深さと難かしさに、心引締まる思いです。

良き先輩の見事な書をお手本として、諸先生方の懇切丁寧な御指導により、日々練習に励んでおります。

松風有
清音

知栄書

第15班 平井 義治

天地玄黄宇宙
洪荒日月盈具
辰宿列張寒未
暑往秋收冬藏

平井義治

第12班 茨木 節子

爰自達
安之初

須藤

第2班 須藤 操

魚鳥来
親人

節子書

第1班 倉橋知栄子

T・シルバートラベル同好会

第一班 山田 英明

皆さん、T・シルバートラベル会に入会しませんか？メンバーで毎年、「日帰りや一泊旅行」はもちろんのこと「お誕生日会」、「忘年会」で親睦を深めたり、セーターから依頼される仕事についても連携を強めることにより協力してこなしていきたいと思えます。

お一人で就業されている会員さんやご夫婦でメンバーになり、旅行等を楽しんでる方もおられます。これからも健康に気をつけ、頑張って仕事をこなし、その後で楽しいT・シルバートラベルの催しに参加してください。お待ちしております。

ハイキング同好会

奈良公園にて

山路 政市

十一月十日、朝は曇っていたが、奈良市に着いた頃は晴間が覗いていた。快速に乗って三十分で奈良市に着いた、参加者は二十一名である。近鉄の改札口を出て直すぐに行くところ側に興福寺の北山堂、国宝、重文を多く収蔵している。秋の特別展の正倉院が開かれていた。国宝館の横を通って依水園の美しい庭園を素通りして南大門から大仏殿、東大寺に向う、奈良はすなわち奈良公園といっても過言ではない。緑の美しい芝生に鹿が群れ遊ぶ姿は古都にふさ

わしい風情をとどめている。

鹿せんべいをやるとそこらに居る鹿が集って来る。道の両側には露店が立並び、外人観光客に愛想をふりまいている。鹿は体に以合わず大人しい。大仏殿は世界最大の木造建築、昭和五十五年十月、昭和大修理が終了大屋根には再び黄金の鰯尾がよみがえった。シルクロードの東の終着点といわれる正倉院、お水取り行事の二月堂、天平建築と鎌倉建築が見事に調和した三月堂など見ごたえがある。



十分程歩いて二月堂に着く、竹の先に松明(たいまつ)飾って火をつけお水取り行事は雄大であり有名である。長い階段を上って神前に着く、高さは二十米くらいだったと思う。二月堂の前の広場に開岩堂が建造されており中に大きな釣鐘があった。春日大社の参道には様々な形をした石灯籠が並び寄進者の名前を読みながら歩くのも楽しい、本殿を囲む朱塗りの回廊には約一〇〇〇基の釣灯籠があり灯のはいる二月節分と中元は壮観である。

に大きな藤の蔭、あり前回来た時は美事に咲いていた。

春日大社から出た処に茶店があり、此処で昼食をする。お土産やおしるこ、甘酒など買ってこれれば部屋代はいらない。昼食の時は何より楽しい話題は豊富でいろいろな事を話していた。猿沢池に興福寺の五重塔が池に映える風景は奈良随一である。多数の鯉や亀が餌に集る和やかな風景が四季を通じて見られる。奈良駅前が皆が集った処で解散する。

テニス愛好会

第十三班 藤田 泰通

設立二十周年記念式典会場、同好会等活動状況展示場の一隅テニス愛好会ブースに新旧二本のラケットを展示したのにお気付きの会員も居られるであろう。一頃のテニスブームはすっかり影をひそめたが、我がテニス愛好会は発足以来メンバーは少ないながら楽しくゲームを行っている。我々高齢者が今尚何とかプレー出来るのはラケットの進歩改良に依る所非常に大である。

ラケットが現在の形になって以来一〇〇年近くその材質はウッド(木材)であった。それが一九六〇年代後半スチール、一九七〇年代後半グラファイトのラケットが作られ始め、その後打球面の大型化(テカラケ)やフレームの肉厚化(アツラケ)と変化改良されて来た。これによって女性テニス愛好者が爆発的に増えた。グラファイトになってラケット

の目方は非常に軽くなり打球時の反発力は飛躍的に増え、面の大型化によってスイートスポットが広くなった事で非力な女性や高齢者にもボールが打てるようになったのである。然し改良の研究は休むことなく続けられているらしく、最近見た記事の一つを借用すれば、ラケットフレームの中にセラミック物質を埋め込みボールが当たった瞬間、電気エネルギーを発生させる(ピエゾ電気理論)。ラケットはボールが当たると後へしなる。通常は五ノ一〇〇〇秒でそのしなりがもとへ戻るがこのラケットはその電気エネルギーによって一ノ一〇〇〇秒以内に戻るので、今迄のラケットでは不可能だったパワーとコントロールが発揮出来る。と紹介されている。次第に筋力の衰える我々にも効果があるのか一度使って見たいものである。

図▶ ミドルサイズと木製ラケットの大きさ比較



老人ホームでボランティア活動 四人の会員さんご苦労様です

新春「ふれあい帽子」の取材は縁に包まれた「豊中グリーンヒル特別老人ホーム昌寿会」を訪れた。此処では四人の会員さんがボランティアで活躍・藤田泰通さん・山口 忠さん・林 三穂さん・平野洋子さん。月に一回第三月曜日に二時間のお仕事・早速控室にお邪魔をしてご挨拶が済むと皆さんと



私は「ふれあい」帽子

一緒に三階へ行く。「レストラン・てまり」と書かれた部屋に着く。天井が高く窓が広い、中央に丸い大きな柱が立ち、柱を中心に木目の中巾広いテーブルが囲んでいゝる。椅子が無いのは車椅子で自由に行動出来るのが良い。入浴等を済ませた皆さんが三々五々と車椅子で好きな場所に着く。会員さん達はエプロン姿で傍の大きな箱の

中から、教材を取り出ししテーブルの上に揃える。「今からお習字の準備をしますから」と古い新聞紙をテーブル全体に広げ、黒いフェルトの下敷きの上に半紙を置く。お皿の中に墨汁を少し入れ、大小の筆二本を揃え最後にお手本が配られる。題材は「稲刈」と「夜永」を文鎮でセット。お習字の先生は中林眞澄さんとサポート役の中川栄子さん、中山由子さんでお仕事



が忙しい傍のボランティアとの事、先生に少しお話を伺った。「皆さんのリハビリのお役に立てばと習字を初めました。此の場所で集まって仲よく元気に明るくなるというでしょう。お習字の上手・下手は関係ないんです。用具は昌寿会から出ます。二年前からシルバーの皆さんが来て下さりとても助かってます。此のお仕事は楽に見えても大変です。私共がせめて、交通費

位差上げられると、いゝのですが

済みませんね」とのお言葉に私は思わず頭が下る思いだ。会員さんが時々巡回して、半紙の取替え墨汁の追加等々忙がしい。次は書き上った作品を会員さんが別のテ



ブルに並べると真剣に見ていた皆さんの顔が生き生きして嬉しそうに手を叩く・近かくの車椅子のお祖母様に声を掛けた。「お名前の小さい字がとても上手に書けましたね・お習字はお好きですか?」とお訊きしたら「小さい頃からお習字が大好きで、此の年になっても楽しみに此処に来ています」とそのお声はとても弾んで聞えた。皆さんはお帰りの時に、私に一寸手を振って下さった。「さよなら」と私も小さく手を振る。

会員さん達と後片付けを済ませ控室に戻り残り時間を取材にお願い

第四班 徳永 美恵子

いした。男性の方に、お仕事の感想を「ボランティアで働く事は、第一に無理をせずに継続する事です」と答えて下さった。女性の方は馴れるとお互いに情が移ります「以前の事ですがお話をすると、何時も心待ちにしていたお祖母様の姿が見えないのでお尋ねしたら「あの人はもう此処には居ないよ」と淋しそうなお言葉に私は、直ぐ事情が訳りました。「二度と戻らない出逢いでした」とお聞きした。とてもつらいお話だった。僅(わず)か半日の時間に垣間見せて頂いたボランティアのお仕事は地味だった。今日の取材で考えさせられた事。人は誰でも一人では生きられない。勇気を持って一歩前進

